

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 15 年 8 月 6 日

上場会社名 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

（コード番号： 9613 東証第一部）

（URL <http://www.nttdata.co.jp/>）

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 浜口 友一

問合せ先責任者 役職名 総務部株式担当部長

氏名 加藤 雅之

（TEL：(03) 5546 - 9962）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における：有
認識の方法との相違の有無

（内容）

固定資産の減価償却の方法

（1）有形固定資産・・・年度見込み額のうち当四半期分を計上しております。

（2）無形固定資産・・・年度見込み額のうち当四半期分を計上しております。

法人税等の計上基準・・・法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いています。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況：有

（内容）

新規連結在外子会社 7 社（NTT DATA INTERNATIONAL L.L.C.、NTT DATA USA L.L.C.、NTT DATA AgileNet L.L.C.、M.I.S.I.Co.,Ltd.、MISICOM, Inc.、北京恩梯梯数据系统集成有限公司、恩梯梯数据（中国）有限公司）を含め計 44 社、持分法適用会社 2 社

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	166,423	-	10,696	-	9,600	-	4,927	-
15 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 15 年 3 月期	832,109		61,544		47,315		28,562	

	1 株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
16 年 3 月期第 1 四半期	1,756	83	-	-
15 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-
(参考) 15 年 3 月期	10,151	57	-	-

（注）1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しておりますが、前年同四半期決算（連結）を行っていないため記載しておりません。

2. 前年同四半期については、四半期決算（連結）を行っていないため記載しておりません。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当四半期における日本経済は、企業収益に緩やかな改善が続き、設備投資も緩やかな持ち直しが続くなど、概ね横ばいとなっております。

情報サービス産業においては、ブロードバンド加入者数が一千万人を超えるなど、インターネット環境の整備がより一層進展し、ICタグの規格に 170 社が合意し、バーコードに変わる流通管理手段として期待されるなど、新たなビジネスチャンスも生まれております。

このような情勢のもと、当社グループは「S I ビジネスの競争力強化」及び「新規ビジネスの推進」を重点方針として掲げ、事業を展開してまいりました。

特に構造改革については、ミドルマーケット S I ビジネス及び保守・運用ビジネス推進体制を強化することの一環として新会社の設立等に取り組みました。具体的には、地域のお客様に密着し競争力を持って迅速かつ機動的に地域のビジネスに取り組みため、全国各地域の支社と地域の子会社を再編整理し新会社 9 社を 7 月 1 日に発足させました。また、保守・運用ビジネスでのワンストップで効率的かつ全国均一的なサービスを実現するため、複数の保守・運用子会社を NTT データカスタマサービス㈱に統合いたしました。

なお、今回の地域新会社の設立等に向けて、社員の出向に関する意向調査を実施した結果、出向に伴う一時金として約 110 億円の特別損失を中間期に計上する予定であります。

当四半期の業績につきましては、システムインテグレーション事業における安定的なサービスの提供、その他サービス事業のシステムサポート収入が堅調に推移したことから、売上高 166,423 百万円、営業利益 10,696 百万円、経常利益 9,600 百万円、四半期純利益 4,927 百万円となりました。受注につきましては、既存のお客様からの継続受注により第 1 四半期が多くなる傾向があり、受注高は 292,689 百万円となりました。厳しい市場環境の下、引き続き年間目標の達成を目指しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	1,019,099	438,572	43.0	156,353 75
15年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	1,118,400	435,714	39.0	155,303 87

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	35,390	40,405	47,975	37,988
15年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	216,193	149,013	60,474	90,123

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

営業活動によるキャッシュ・フローは35,390百万円となっております。

これは主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費に加え、売上債権の回収等があるものの、法人税等の支払により、若干低めの水準となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは40,405百万円となっております。

これは主に、固定資産の取得による支出によるものであります。

以上の結果、当四半期のフリー・キャッシュ・フローは5,015百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは47,975百万円となっております。

これは主に、コマーシャル・ペーパーの返済によるものであります。

これらの結果、当四半期における現金及び現金同等物は、前期末に比べ52,134百万円減少し、37,988百万円となりました。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	350,000	21,000	5,000	-
通期	840,000	53,000	30,000	10,695 19

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点で中間期及び通期業績予想に変更はありません。

上記の予想は、当社グループが現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、実際の業績は今後様々な要因によって当社グループの見込みと異なるかもしれないことをご承知おきください。

以 上